

世界の仏教研究における最高水準のエッセンスが
凝縮された原著の待望の日本語訳！

エリアーデ 仏教事典

BUDDHISM AND ASIAN HISTORY

日本語版監修

中村 元

編訳

木村清孝・末木文美士・竹村牧男



法藏館

監修のことば

中村 元

仏教やアジアの諸宗教を、広い視野から評価するという段になると、エリアーデさんの『宗教百科事典』が最適の書であるということ、なんぴとも承認せざるをえないであろう。……エリアーデさんの畢生^{ひっせい}の大作の総仕上げとでも言うべき『宗教百科事典』のうち、特に「世界史における仏教及び東アジアの諸宗教」の部分は、西洋諸国でも独立の単行本として刊行されて好評を博しているが、このたびその日本語訳が、『エリアーデ仏教事典』という一巻のまとまった大冊として刊行されることになった。本書の邦訳に協力されたものも、わが国の一流の学者たちであるが、ここでその真価が問われるのであろう。……ただ一つはつきりと言えることは、エリアーデさんの残した偉大な研究成果を乗り越えることよってのみ、新しい宗教理解の道が開けてくるであらう、ということである。（本事典〔日本語版〕監修者序より）

本書を推薦します！

河合隼雄

京都大学名誉教授



海外に行くこと、仏教に対する関心が高いことに驚かされる。二十世紀が科学・技術の時代であるとする、二十世紀はその成果を発展させつつ、それを人間が生きていく上で、また世界観の中にどのように位置づけていくかが課題となるだろう。その時に仏教が役立つのではないかと強い期待がある。われわれ日本人も仏教についてもっと知る必要がある、そのためには生活の中のみならず、それを体系的な知として歴史的・全体的に知ることが必要である。

その点で『エリアーデ仏教事典』の出版は誠に時宜を得たものである。これによって読者は世界的視野の中で仏教に関する

ミルチャ・エリアーデの略歴

- 一〇七 ルーマニアのブカレストに生まれる。
- 一〇五 布カレスト大学に入学。在学中にルネサンス哲学を研究。
- 一〇六 インドへ留学し、S・ダスクプタのもとでサンスクリット語やインド哲学を学ぶ。ヒマラヤではヨーガの修行も体験。
- 一〇三 帰国後、博士論文「インドの瞑想の心理学」（後の『ヨーガ』の原型）で学位を取得。
- 一〇三 布カレスト大学助教授に就任し、インド形而上学の講義を担当。自伝的恋愛小説『マイトレイ』によって文学賞を受賞。
- 一〇六 政治抗争に巻き込まれ、收容所生活を経験。その後、ロンドンやリスボンにて駐在文化担当官を務める。
- 一〇四 バリに移住後、国立高等教育院やソルボンヌ大学などで講師を務める。この頃から数年の間に、フランス語で『宗教学概論』『永遠回帰の神話』『ヨーガ』『シャーマニズム』などの著作を執筆。
- 一〇五 米に亡命の後、シカゴ大学神学部教授に就任。
- 一〇六 国際宗教学宗教学会のため来日。
- 一〇六 J・キタガワらと雑誌『諸宗教の歴史』を創刊。
- 一〇六 『世界宗教史』（全3巻）の執筆開始（一〇八年）。
- 一〇五 『宗教百科事典』（全16巻）の編集主幹を務める（一〇六年逝去）。

〈本文内容一覧〉

第一部 仏教の基底

- ① 仏教という 宗教・文化・文明……………レイノルズ&ハリズィー（西本照真）
- ② ブッタ……………レイノルズ&ハリズィー（久間泰賢）
- ③ インドの仏教……………ゴメス（上田 昇）

第二部 アジアに広まる仏教

- ④ 東南アジアの仏教……………スウエアラ（石上和敬）
- ⑤ 中央アジアの仏教……………エンメリック（岸根敏幸）
- ⑥ 中国の仏教……………チュルヒャー（岩城英規）

世界的視野に 立った仏教の 包括的な情報

杉浦康平
神戸芸術工科大学名誉教授



東西文化の 架橋となる 視点を提供

立川武蔵
愛知学院大学教授



仏教に見る エリアーデの 「聖と俗」概念

的確で包括的な情報を得ることができるところである。著者のエリアーデは周知のように宗教学の世界的權威。監修者の中村元先生はわが国における仏教学の第一人者。またとはない取り合わせによって生まれる本書は、研究者のみならず一般の人々にとっても極めて有用なものとなるであろう。

アジアの神話的図像を凝視し、描かれたものに潜む霊妙な力を読み解こうとする。たとえば、マンダラやヤントラの神聖幾何学、神・仏像が示現する神話と奇跡、カーリー・ランダなどがあらかず宇宙的な忿怒、両性具有の神々や複合動物（竜・マカラなど）の姿が孕む錬金術的な謎、生活の場に林立する生命樹や宇宙樹の輝き……。これらの図像の内奥をかいま見ようとすると、次々とわき起こる疑問への最強の手引書が、エリアーデの諸著である。聖なる顕現、聖と俗の両義性、永劫回帰の神話などの諸概念が図像の微細部を照らしだし、気づかぬ構造をくつきりと浮かびあがらせてくれる。

ルーマニアに生まれ、インドに遊学して、東西の宗教史に通曉したエリアーデ。いま、彼が監修した「宗教百科事典」の邦訳（二部）が刊行されるといふ。その内容は、東洋と西洋、二つの文化の架橋となる広範な視点をもち、両者の智慧を存分に包括し結晶化させた、エリアーデならではの無上の書物となっているに違いない。

今日われわれが「宗教」と呼んでいる現象は実に様々だ。死者の葬送儀礼、日五回の神アッラーへの祈り、キリスト教会でのミサ、禪・念仏など、宗教行為の多様性を分析する操作概念が必要となろう。宗教学者はそのような操作概念の発見、開発を目指してきた。

エリアーデが用いた一組の操作概念に「聖と俗」がある。彼によれば宗教とは「聖なるものが俗なるものに顕現することである」。たとえば、聖なる靈我が俗なる行者の身体にあらわれるのがヨーガであるといった具合である。しかし、「聖と俗」の概念は元来ユダヤ教・キリスト教の伝統の中に育ったものであるために、アジアの諸宗教についてはどれほど有効であるか、疑問をもつ研究者は多い。しかし、この操作概念はエリアーデが主張するようにアジアの諸宗教についても有効であるとわたしは考える。「エリアーデ仏教事典」がその証左となり、わたしを含めエリアーデの学問的遺産を引き継がんとする者にとって座右の書となることを期待する。

- ⑦ 朝鮮の仏教……………バズウエル（岩城英規）
- ⑧ 日本の仏教……………田丸徳善
- ⑨ チベットの仏教……………ギユンター（吉水千鶴子）
- ⑩ モンゴルの仏教……………ハイスイヒ（吉水千鶴子）

第3部 学派と宗派

- ⑪ 小乗仏教……………バロ―（浅野守信）
- ⑫ 大乘仏教……………中村 元（高橋堯英）
- ⑬ 密 教……………ウエイマン（種村隆元）
- ⑭ 中国仏教の諸宗派……………ワインスタイン（堀内伸二）
- ⑮ 日本仏教の諸宗派……………荒木美智雄
- ⑯ チベット仏教の諸宗派……………スネルグロ―ウ（吉水千鶴子）

第4部 生活と実践

- ⑰ 仏教のサンガ……………ベツヒェルト（蓑輪顕量）
- ⑱ サンガと社会……………セーネーヴィラトネー（蓑輪顕量）
- ⑲ 東南アジアにおける仏教徒の宗教生活……………ゴンブリッチ（奈良修一）
- ⑳ 東アジアにおける仏教徒の宗教生活……………海野大徹（堀内伸二）
- ㉑ チベットにおける仏教徒の宗教生活……………サーマン（吉水千鶴子）
- ㉒ 仏教と瞑想……………キング（山口 務）
- ㉓ 仏教図像……………ゴ―リエ&ジュラプザール（蓑輪顕量）
- ㉔ 民俗仏教……………スウエアラー（奈良修一）

第5部 悟りへの道

- ㉕ 阿羅漢……………スウエアラー（浅野守信）
- ㉖ 菩薩の人生行路……………中村 元（堀内伸二）
- ㉗ 天界のブツダと菩薩……………スネルグロ―ウ（種村隆元）
- ㉘ 完全なる成就者……………レイ（山口 務）
- ㉙ ニルヴァーナ……………カスリス（岸根敏幸）

*（一）内は各章の翻訳担当者

（敬称略）

好評発売中



〈特色〉

- ◎「仏教のエッセンス」がグローバルな視点から地域・テーマ別の29項目に整理、体系化されて記述されています。
- ◎日本語版ならではの充実した文献ガイド・補遺・訳註、索引などが付されています。
- ◎宗教としての仏教のすがたとその本質を、真摯にかつ科学的に学びたいと願うすべての人びとに叶う内容となっています。
- ◎新鮮で知的な刺激にあふれた、「読み物」としても楽しめる画期的な事典です。

〔体裁〕

A5判・上製ケース入・六九〇頁

〔価格〕

定価 二二、六〇〇円（税込）

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

TEL 〇七五(三四三)五六五六 FAX 〇七五(三七一)〇四五八
homepage <http://www.hozokan.co.jp> e-mail info@hozokan.co.jp